

豊かな教育を子どもたちに

## I 研究内容

### 1 研究の具体的内容と方法

(1) 甲州支会と山梨支会に別れ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会 …「予算分析」「私費調査」「職員会議提案資料」「予算の有効活用」「予算差引簿の活用」についての研究。

イ 山梨支会 …「予算分析」「予算要求」「備品管理のパソコン処理」「情報管理面での環境整備」についての研究。

(2) 東山梨教育環境白書の作成に協力するため「教育財政の実態」「教育環境の実態」についての調査。

## II 成果と課題

### 1 成果

#### (1) 甲州支会

予算分析調査では、課題解決のために「いくつかの方向からアピールする」等全体で意見交換することで、より具体的な手立てを考えることができた。

調査が調査で終わらないために、部員それぞれの日々の工夫・悩み・疑問を分かち合い実践へとつなげる一人ひとりの取り組みが、甲州市の教育条件の土台となり、継続的な運動の展開を支えている。

また、今年度は市の財政課担当者との学習会を開催し、学校事務職員を行政へアピールできる機会にもなった。

#### (2) 山梨支会

例年継続してきた各学校の「配当予算分析表」を作成して、近年削減されている公費予算を効率的に執行している実践を報告し合い、相互に実務の参考とした。また「分析表」は次年度予算編成過程のヒアリング時にも活用することができた。

備品台帳のデジタルデータ化にむけて入力作業の段階になった。

情報管理面での環境整備において、市内共通の「文書分類表」「PC対応・往復文書処理簿」が整った。

県外研修では、山梨市教育委員会職員の同行も得て、千葉県松戸市教育委員会・教育情報センターを訪問し、教育委員会イントラネット（教育委員会・生涯学習施設・学校を一体化したネットワークシステムの構築）の実際を視察した。教育行政分野での情報化について、委員会職員と共通意識をもつことができ、望ましい方向性を確認して改善への手がかりを得ることができた。

## 2 課題

### (1) 甲州支会

教育予算は、来年度以降も校舎等の耐震化計画が進むため、配当予算に及ぼされる影響が危惧される。耐震以外の学校でも、18校の校舎施設維持に伴う予算は年々膨らんでいくことが予想される。そのためにも、予算を有効に活用できるよう粘り強く今後も取り組んでいきたい。

### (2) 山梨支会

当初予算の分析は行っているが、年度末までに流用や組替え操作で予算執行をやり繰りしている状況があるので、予算決算の分析も必要となる。

備品台帳の入力は学校間での作業格差があるので足並みをそろえたい。データのデジタル化作業が先行しているが、要綱等の制定も行政機関を巻き込んで対応できるように研究を進めたい。

また教科によっては分類の検討も控えている（小学校英語，ことばの教室）

「文書分類表」の作成は、現段階では情報公開に際して必要となる「学校が保有している情報目録」をベースに、従来事務が担当してきた部分を抜き出して作業をしてきたので、学校情報を網羅する目録については今後の研究が必要となる。

### (3) 全体として

各支会の情報交換等については、より有効に活用できるよう工夫をしていきたい。

## III 成果物

### 1 甲州支会

予算分析表

職員会議提案資料

予算差引簿（エクセルファイル）

予算の有効活用のための参考資料

### 2 山梨支会

予算分析表

文書分類表

備品台帳（エクセルファイル）

往復文書処理簿

（ 部長 中村直子 ）